

Sc/Eq

大山田神社



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県下伊那郡下條村陽阜鎮西
緯度・経度：北緯 35 度 22 分 40.4 秒
東経 137 度 47 分 0 秒
伝承形式：社寺
種類 / 要因：斜面崩壊・がけ崩れ / 地震
災害発生：1718 年（享保 3 年）8 月 22 日
建立時期：927 年（延長 5 年）
指定等：重要文化財
周辺地形：山地・溪谷



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

1718 年（享保 3 年）8 月 22 日の遠山地震により下條村陽阜の牛ヶ爪川の支流、南の沢川の流域が広範囲で崩落し、大山田神社、龍岳寺をはじめ民家にも広く被害が出ました。大山田神社の東側の急斜面がその時崩れたとの伝承があります。

周辺案内

大山田神社は長野県自然 100 選の 1 つで、ここには約 280 種類の南限・北限の植物が繁茂する植物学上貴重な場所で、推定樹齢 800 年の大杉もあります。神社に 300 年程前から伝わるギョウロ獅子舞という獅子舞があります。奇妙な面をつけた神主「ヘエオイ」と獅子の掛け合いが有名で、別名「蛇踊り」と呼ばれます。